

国際戦略経営研究学会
The International Academy of Strategic Management
NEWSLETTER VOL. 4.No1
2015/1/24



(内容)

- 1 会長新年ご挨拶
- 2 第7回年次大会・研究発表大会のご報告
- 3 JSMSの原稿募集
- 4 学会誌編集委員会からのお知らせ
- 5 事務局からのお知らせ

1. 会長新年ご挨拶

輝かしき新春を迎える皆様のご多幸とますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年末の衆議院解散による選挙結果は、様々な問題の所在が指摘されたアベノミクスを今後さらに加速させることになりそうです。このことに対する評価はさておき、日本企業におけるグローバル化の進展が加速され、それにともなう新たな戦略的対応の必要性が増大することに注意が向けられなければなりません。そこではこれまで経験したことのなかった新たな経営課題がたくさん登場してくることが予想されます。どんなに現状がカオスになろうとも、そこを突き抜けていく上で一定の役割を果たすのが理論です。理論は演繹的力で進むべき方向に光を照らしてくれます。しかし、個々の具体的な対応は経営実践での数少ない先行事例を集め、多面的な検討と議論を重ねて帰納的に方策を導き出すことが不可欠です。

私どもの国際戦略経営研究学会は一方で理論的な戦略論研究を志向すると同時に実務での事例分析にも重点を置いています。実際、会員の構成も大学をはじめとした研究機関の研究者と企業で活躍されている実務家の方々からなっております。この両輪がうまくかみ合っていくことで、日本企業の戦略は磨かれ、競争優位にかなうものとなります。そのためにも、実務に携わる方々にもっともっと学会に参加して頂き、議論の輪を広げていきたいと願っております。ビジネスパーソンとりわけ専門職大学院であるビジネススクールに学ばれた方々、学んでいる方々そして今後学んでみたいと思っている方々も是非、積極的に参加されることを願ってやみません。

世界の企業にとって著名な戦略論は共通言語であり、ビジネスパーソンの大切な武器になっていることは言うまでもありません。また大学でも経営学研究分野での戦略論のウェイトはますます大きくなり、学生達の関心の高まりの中で戦略科目の充実ももとめられております。

こうした状況のもと、本学会の主要活動の一つとして、研究部会運営委員を中心となつて、実際の企業経営に携わる実務家との研究交流を深めるべく、各界から報告者を募り、かなりの頻度で研究会が開催されております。

是非、戦略経営に关心を持つ研究者と実務家が連携した本学会を、さらに発展させていきましょう。

会長 高橋宏幸

2. 第7回年次大会・研究発表大会のご報告

国際戦略経営研究学会 第7回年次総会・研究発表大会は「“New Global Challenge for the Japanese Businesses : Burgeoning issues and the new approaches of strategic management”」という統一論題のもとに、9月13日（土）と14日（日）の2日間、中央大学 後楽園キャンパスにて開催され、活発な討論が繰り広げられました。年次総会・研究発表大会それぞれの内容は下記の通りです。

2.1. 年次総会

以下の議題について、9月13日開催の理事会の議を経て総会で審議し、いずれも承認されました。

（1）平成25年度事業報告および収支決算についての事項

事業報告として以下の委員会の報告が行われ、収支決算について承認されました。

① 総務企画委員会活動

② 大会企画運営委員会活動

③ 渉外・国際委員会活動

④ 研究部会活動（開催回数）

- ・戦略経営理論・実践共催研究会（8回）

- ・戦略的人的資源・組織開発研究会（4回）

- ・グローバル戦略部会（2回）

- ・製品・サービス開発戦略研究会（2回）

- ・戦略財務・会計研究会（3回）

- ・関西（政策・戦略）研究部会（2回）

- ・中部支部（1回）

⑤ 学会誌編纂委員会活動

- ・JOURNAL OF STRATEGIC MANAGEMENT STUDIES の発行

Vol. 5 No1, 2 を2013年9月に発行。Vol. 6 No1 を2014年4月に発行。

- ・『戦略経営ジャーナル』（電子ジャーナル）Vol. 3 No1 を2014年4月に発行。

Vol. 3 No2 を2014年8月に発行。

（2）監査報告についての事項

学会会則第31条に従い、白田佳子監事の監査を受け、「決算報告書は収支支出の状況及び財産の有りを正しく示している」ことが報告されました。

（3）平成26年度事業計画および収支予算についての事項

これまで通りの研究会活動、学会誌の発行を継続して行うことが確認されました。

(4) 会員数の現状について

正会員数	270名
準会員数	64名
顧問	2名
合計	336名

(5) 来年度の全国大会開催について

- ・開催校：玉川大学
- ・開催時期：未定
- ・統一論題：「戦略経営とグローバル組織のイノベーション」

2.2. 第6回年次大会の報告

2014年9月13日（土）・14日（日）の両日に、中央大学後楽園キャンパスにおいて第7回全国大会が開催されました。今年度は、統一論題に関して英語と日本語、それぞれによる2つのシンポジウムが開催され、この他、大学院生セッションと自由論題セッションが開催されました。2日目の統一論題シンポジウム終了まで多くの会員諸氏が積極的にご参加いただき、お礼を申し上げます。

統一論題 “New Global Challenge for the Japanese Businesses

：Burgeoning issues and the new approaches of strategic management”

統一論題シンポジウム(1)（英語）では、著名な Mendenhall 教授ほか3氏を海外から迎え、統一論題について、戦略、リーダーシップ、人的資源その他の広範な視点からの討論が展開されました。

統一論題シンポジウム(2)（日本語）では、「Global Giants および Emerging locals/Giants との競争をいかに勝ち抜くか」というよりフォーカスされたテーマについて、戦略にウェイトをおいた視点から、統一論題およびそれに関連するテーマについての報告申し込み会員による理論的、実践的に有効な戦略の可能性を探る討論が展開されました。

また、記念講演といたしまして、株式会社資生堂の相談役・前代表取締役会長である前田新造氏をお迎えし、「資生堂のグローバル展開～中国事業30年の歩み～」と題して、中国市場で global giants や emerging giants との熾烈な競争をいかに生き抜いて成長を実現したか（How to win in emerging markets）について、資生堂の戦略と資源の構築の歩みについてご経験に基づいた貴重なお話を伺いました。前田相談役には、講演会後も懇

親会に引き続きご参加いただき、尽きることのない会員のご質問にもご対応いただきました。

なお、グローバルチャレンジは企業のみならず、学会にも強く期待されるものであり、本学会もニュー・グローバルチャレンジを目指さなくてはなりません。新潟大会で初めて英語による発表を取り入れましたが、次のステップとして、できるだけ早期に非日本語圏からの研究者、実務家が参加しやすい体制を整備したいと考えています。そのためには、会員の皆様の一層のご支援を今後も宜しくお願いします。

第7回全国大会 大会実行委員長 河合 忠彦

3. JSMSの原稿募集

編集委員会では、本年度、以下のような 学会誌の刊行を予定しています。

(1) 戦略経営ジャーナルの刊行予定について

日本語、電子ジャーナル雑誌『戦略経営 ジャーナル』については、Vol. 3 No. 4 は、2014 年度の大会特集号として、この 3 月に刊行予定です。昨年、9 月に中央大学で開催された大会の日本語・統一論題「Global Giants および Emerging Locals/Giants との競争にいかに勝ち抜くか」に関する論文 が掲載される予定です。同時に、自由論題論文も掲載予定です。

戦略経営ジャーナル、Vol. 4 No. 1 は「地方・地域創成に向けたグローバル人材育成」をテーマにした特集号となります。本年 7 月を刊行予定です。同時に、自由論題論文を掲載予定です。

戦略経営ジャーナルの Vol. 4 No. 2 は、本年、2015 年 9 月に玉川大学にて学会が開催され、その統一 論題をベースとした学会特集号となります。同時に、自由論題論文をも掲載予定です。

(2) Journal of Strategic Management Studies の刊行予定について

Journal of Strategic Management Studies (JSMS) の Vol. 7 No. 1 は、2014 年学会特集号です。昨年 9 月の学会では、英語パネルセッション、”New Global Challenges for Japanese businesses: Burgeoning Issues and New Approaches of Strategic Management” が開催されました。このパネルセッションに基づいた招待論文を掲載し、2015 年 2 月刊行予定です。

同誌、Vol. 7 No. 2 は、2015 年 7 月予定です。同号は、corporate governance に関する特集号となります。同時に、自由論題論文も掲載予定です。

(3) 戦略経営ジャーナル、JSMSへの自由論題論文の投稿募集

当学会では、本学会誌の自由論題論文投稿を常時、募集をしていますので、会員の皆さんの積極的な投稿をお待ちしております。投稿に関しては、JSMS誌、及び学会ホームページをご参照下さい。

4. 学会誌編集委員会からのお知らせ

著書、訳書の紹介、及び書評の掲載のご案内

これまで当学会では、会員の論文を、学会英文雑誌、Journal of Strategic Management Studies、及び日本語電子雑誌、戦略経営ジャーナルに掲載してきました。この度、会員の著書、訳本の紹介、及び書評の掲載をも実施することになりました。以下の要領で実施致しますので、ご希望、関心があります方は、以下をご欄下さい。ご質問がある際には、咲川学会編集委員までメール（saki@mot.niigata-u.ac.jp）にてご連絡下さい。

(1)概要

本会員が出版した自身の学術書（単著、あるいは共著の代表者の場合）、あるいは学術書の訳本（単独、あるいは代表の場合）について、本人からの希望がある場合、あるいは他の会員からの推薦があり本人が承諾した場合には、下記の手続を経てその紹介を学会ニュースレターで行う。

学会電子ジャーナル誌「略経営ジャーナル」にて書評の掲載を希望する場合には、下記の手続きによって編集委員会が掲載は適当であると判断すれば、掲載する。

紹介、書評される本または訳本は、編集委員会が受け取った時点で、出版されて過去1年以内のものとする。

(2)ニュースレターでの本、訳本の紹介の場合

会員は自身の著書あるいは訳本につき紹介を希望する場合には、著書あるいは訳本を、咲川編集委員宛て（以下に住所を掲載）に郵送する。編集委員会が紹介をしても良いと判断した場合には、著者あるいは訳者に対して、著者名、著書、出版社名、値段に加え、本あるいは訳本の内容紹介（400字以内）をしてもらう。紹介掲載の判断基準は、Journal of Strategic Management Studiesの以下の規定に従うものとする。

The mission of JSMS is to advance theoretical and practical knowledge centering around strategic management and to publish articles that are in line with, and would help achieve, this mission.

(3) 戦略経営ジャーナルでの書評の場合

本会員が自身の著書、訳本の書評につき掲載を希望する場合は、その図書を学会編集委員に郵送する。具体的には、咲川編集員の大学の住所（〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学・人社系棟内 咲川 孝宛）に郵送する。

学術関連の図書に限定して、編集委員会が一定の基準を達成していると判断した場合に、その本あるいは訳本の書評を戦略経営ジャーナル誌に掲載する。この場合も、判断の基準は、以下に基づくものとする。

The mission of JSMS is to advance theoretical and practical knowledge centering around strategic management and to publish articles that are in line with, and would help achieve, this mission.

書評は、その分野に近い本学会員が担当する。

Takashi Sakikawa
Editor of Journal of Strategic Management Studies

5. 事務局からのお知らせ

(1) 会費納入のお願い

日頃より学会活動にご尽力いただきありがとうございます。学会活動は会員の皆様の会費がベースです。皆様には、本年度の学会費納入をお願いいたします。

過年度分の学会費が未納の場合には、今後発刊する学会誌が送付されません。また、会費を3年間滞納した場合には会則第8条第4号に基づいて会員資格が失われます。

以上をご留意の上、早期の会費納入につきましてご協力をお願いいたします。
年会費は正会員8,000円、準会員(学生)5,000円です。指定口座は次のとおりです。

銀行名 :ゆうちょ銀行 口座番号:00120-3-585264

口座名義:国際戦略経営研究学会

なお、会費納入に当たっては必ずフルネームをご記入下さい。特に校費等で振込を行う場合など、大学から学会宛に直接振り込みが行われる際にはご注意下さい。

(2) 住所等変更の際のご連絡のお願い

所属・ご住所・メールアドレス等を変更された方は、速やかに学会事務局までご連絡ください。

準会員で入会された方も、学生の身分を離れた場合には正会員になりますので、学会事務局までお申し出下さい。

(3) 活気溢れる学会運営のため、お知り合いの方に是非当学会への入会をお勧め下さい。ご不明の点がありましたら、下記学会事務局までお問い合わせください。

#####

国際戦略経営研究学会(IASM)

TEL:03-5445-4845 FAX:03-5442-2370

Eメール secretariat:iasm.jp (:の場所に@をお入れください)

#####